広報かしま
令和元年5月15日 No.598
【発行】鹿嶋市 【編集】政策企画部 広報推進課
☎ 0299-82-2911(代表) FAX 0299-82-0789
〒314-8655 茨城県鹿嶋市大字平井1187-1
http://city.kashima.ibaraki.jp/
市公式ホームページ(スマートフォン用)は右QRコードから!
kouhou1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

『鹿嶋力』見〜つけた

市長エッセー No.54

「令和」の時代が幕を明けました。私も、新元号に込められた「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という想いそのままに、市民はもちろん、鹿嶋市に通勤・通学する方々を含め、縁で結ばれた方々にとって、本市が拠り所となり、交流がなされ、歴史が紡がれていくよう努力していく所存です。

▲新しい時代に「いざ鹿島立ち」
ツール・ド・東日本 鹿嶋 to 八戸 800kmの出発式にて

▲鹿野中学校運動会でも、次代を担う子どもたちに本市の魅力を改めて伝えました

これまでも5つの「鹿嶋力」について折に触れ、申し上げてきましたが、未来においても誇れる鹿嶋であり続けるためには、やはり、これからの時代を担う子どもたちに対する「教育力」が必要だと考えています。まずは、現役世代が本市の魅力や歴史を十分理解し、そして次の世代に受け継いでいける仕組みづくり、そういった環境を創っていきたいと考えています。

ひとギャラリー

第30回技能グランプリで銀賞を受賞

“和の空間”を後世に残したい

畳製作技能士（畳職人） 池田 翼さん（31歳・宮津台）

今年3月に神戸市で開催された「第30回技能グランプリ」(主催＝厚生労働省ほか)において、畳製作の部門に出場した池田翼さんが銀賞を受賞しました。この大会は2年に一度、4部門30職種の熟練職人が全国から集まり技能日本一を競う職種別の競技大会です。

▲2年間で一般の畳はもとより八重畳（右）や円形壁掛けなど特殊な畳工芸の技術も習得

子どものときから図工や物作りが好きだった池田さんは、父方の伯父が畳店を営んでいたこともあり、高校卒業後に高萩市にある全寮制の畳高等職業訓練校に入学。卒業までの2年間で畳製作の技術を習得しました。

▲技能グランプリ銀賞の賞状とメダルを手にする池田翼さん

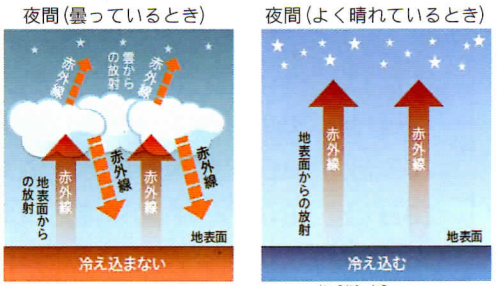
近年は、住環境の変化で、住宅から和室が急速に姿を消し、畳職人だけでなく畳の原料となるい草の生産農家も減っています。一方で、畳の良さを生かした新しい和のスタイルに注目が集まりつつあります。「若い人をはじめ、たくさんの人に畳の良さを知ってもらいたい。そして、人が集まりくつろげる“和の空間”を後世に残していきたい」と、池田さんは笑顔でこれからの目標を話しました。

古川博士の気象コラム

古川 武彦…理学博士。元気象庁予報課長、札幌管区気象台長。退官後に「気象コンパス」を立ち上げ、気象の啓発活動などを行う。

今年の連休は天皇陛下の御即位にちなむ祝日を含めて10連休となりましたが、皆さんはいかが過ごされましたか。5月は天気が最も安定する時期で、たびたび「五月晴」に恵まれ、薫風が野を渡る季節です。

一方で、冬を忘れたころに「遅霜」が降りることもあります。「八十八夜の別れ霜」と言われるように、この遅霜のころを境に霜は降りなくなるのが天気の経験則です。今年は5月2日が八十八夜にあたりますが、油断は禁物。「九十九夜の泣き霜」という言葉もあり、5月半ばごろまでは、農作物に泣いても泣き切れないほどの霜害が起きることがあるからです。



▲放射冷却のイメージ図 (提供：饒村 曜(にょうむら ようこ) 氏)

霜は、夜間の「放射冷却」で地上付近の気温が0℃以下に冷えたとき、空中の水蒸気が微細な氷粒となって、地表や葉面に付着する現象です。放射冷却とは、昼間暖まった地表面が、日没により地表の熱エネルギーが赤外線として上空に放射される（逃げる）ために冷えることをいいます。しかし、雲があると地面からの赤外線を吸収して、再び地面を暖めるように作用するので、あまり冷えません。

穏やかな「五月晴」の夜は雲がなく、ぐんと冷え込みます。毛布1枚を重ねてお休みください。

【市の花】はまなす
【市の木】松
【市の鳥】きじ